

① 御原地区圃場整備事業・石原川  
改修事業

事業実施 一九八六年

改修前、東部石原川水系は水害の常襲地帯でした。改修は流域住民の悲願でもあり、行政、部落解放同盟、改良区の皆さんが一体となり、協議、陳情請願を繰り返し実現した事業です。西部地区では圃場整備が行われました。川の氾濫の恐れがなくなったことを共に喜び、同和对策事業が安全な地域作りに貢献しました。



こちらに引越してきたのが15年前です。石碑があることには気がついていましたが、その意味や理由については知らなかったですね。また、この地域が低湿地帯で川の氾濫が起こりやすい地域だったと聞き、驚いています。今、当たり前のように守られている環境が、数十年前の地域や解放同盟の協力で実現できた事業と聞いて改めて同和对策事業の実際を知りました。長い歴史があるんですね。

▲ 石碑には当時この事業に尽力した方々の名前が記されています。



② 小僧ヶ池改修工事

事業実施 一九九四年

中央一区・部落解放同盟・行政で建設委員会を発足し、同和地区改善施設整備事業として取り組むことになりました。また、改修工事では美感を損なわないような工夫もされ、永年の悪臭や蚊などに悩まされていた住民の方々にとても喜ばれた事業です。



③ 都市計画道路(原田・大崎)整備事業『七夕通り』

事業実施 一九七九～七八年

七夕道路の開通。それ以前は、火事ときは消防自動車がいけるのだろうか心配されたほどに狭い道路でした。開通後は大崎、小坂井地区の人たちはもとより、味坂、御原方面の人たちをはじめ、全市民が便利になりました。現在原田から東福童まで開通し、市を南北に縦断するこの道路により、南北の交通環境が飛躍的に改善されました。



小郡には30年前に嫁いできました。当時は草が茂っているようなところで、本当に細い路地でしたよ。開通までに時間がかかりましたが、ねほり強い交渉のたまものでしょうか、現在は南北に開通しています。自営業をしている我が家にとっては、今はとても便利になりました。昔のことまで忘れてしまいますね。(自営業)

④ 農政共同作業所

事業実施 一九八一年

「周辺地域ともいっしょに取り組めるのではないだろうか」

一九八一年育苗センターとミニライスセンターは建設されました。当時小郡市における同和地区農家の平均耕地面積は、市の平均の45%しかなく、極めて零細。作物は米と麦が中心でしたが、その多くが兼業農家。さらに高齢化もともない「このままでは食べていけない…なんとかせんと」という思いがありました。その頃北九州へ同和对策事業の視察に行ったり、農業事業の一つに育苗センターがありました。この時「これなら周辺地域とも一緒に取り組めるのではないか」という声があがりました。周辺地域も兼業農家が増えてきた時期でもあり、同和地区農家と同様に高齢化が進んでいました。同じ課題を持つ部落外の農家の育苗作業も請け負うとともに、部落の農家の共同作業も進められると考え、行政・農協・農業改良普及所と部落解放同盟とで協議を重ね、施設建設の実現となりました。

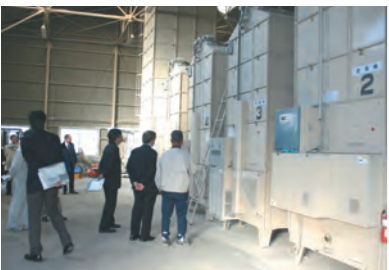


小さな頃、見学に行ったのを覚えています。でもその施設ができた経過はよく分かっていませんでした。たくさんの方々の様々な思いで、この施設を作った事を知った今、ひとりでも多くの方々に知って欲しいと思いました。(20代 女性)

○育苗センターとミニライスセンターについて

育苗センターでは、苗を育て農家まで届けています。育苗はここ数年で1万2千箱。「手間のかかる作業が委託でき、兼業農家には特に助かる」という声が聞こえてきます。ミニライスセンターでは、米麦の乾燥調整作業を行います。

▲ 乾燥機 米や麦を戸別に乾燥調整を行っています。



▲ 子どもたちの元気な声が聞こえてきます。差別のない社会を心から願い設立されました。

⑤ 大崎保育所

事業実施 一九八一年

筑後地区で初めて、この小郡市に「同和」保育所が建設されました。大崎保育所の一人ひとりを大切に育てる保育、家庭訪問を充実させる、親子とじっくり繋がるなどの取り組みが地域の理解を得、同和地区内外の子どもが共に仲良く育っています。二十数年前、まだまだ障害を持つ子どもの受け入れが少ないころ、小郡市で積極的に受け入れたのもこの保育所です。この保育所が大事にしていることのひとつに、毎月行われる保護者会があります。ここでは部落差別の歴史や現実、設立の思いを大切にしながら、保護者同士の意見の交換や学習会をします。「明らかにおかしいのなんでもなんならんのかわかん」という差別のおかしさへの気づきが保護者の中にも生まれています。ゆつくりと信頼関係を築きながら、人権意識を高め合う取り組みが行われています。

この「同和」保育のすばらしさは、市内全域の幼稚園・保育園に広がっています。

保護者会ではいろんな事を学びました。子どもを保育所に預ける安心感はもちろんですが、保護者のつながりも強かったですね。先生方と保護者がいっしょに保育をしていこうという雰囲気も印象的でした。もう子どもは大きくなっていますが、今でも時々訪ねたくなる保育所です。(保育所卒園児保護者)